



村余川 崇知 中
基 祐 浩



「ライフイノベーション国際戦略総合特区」が本格始動!

ともに明日へ

“経済のエンジンを回す”取り組みの柱の一つとして、京浜臨海部を中心に、最先端の技術を活用した医薬品・医療機器産業の国際的な拠点づくりを進め、本格的にスタートさせています。

経済のエンジンを回す

このところ株価の回復や景気指標の改善など、経済に関して久しぶりに明るいニュースが聞かれるようになりました。しかし、こうした動きに一喜一憂するのではなく、将来に向けた成長の種をきちんと蒔く必要があると思います。

日本の底力は、世界に誇る素晴らしい技術にあります。これを生かして世界に打って出ること、経済の力、産業の力が真に回復し、世界の中で日本が重要な役割を果たし続けるためには、そうした政が必要で、それこそが、将来にわたって経済のエンジンを回し続ける推進力となるのです。

ライフイノベーション国際戦略総合特区

今の中国があれだけの経済発展を遂げたきっかけとなったのは、上海などの経済特区でした。それと同じようなことを今、神奈川県で起こそうとしています。それが京浜臨海部の「ライフイノベーションiPS細胞に代表されるように、生命科学の分野でも日本には世界をリードする基礎研究がたくさんあります。

しかし、それを製品化し、国際的な市場に展開するチカラが弱く、医薬品や医療機器は圧倒的な輸入超過となっています。お金が日本から外国へ出て行ってしまっているのです。もったいないと思います。その弱点を克服し、日本発の革新的医薬品などを世界に向けて発信していく窓口にしよというのが、この特区の狙いです。ここは「医療の出島」と考えてください。規制の厳しい医療の世界に風穴を指し、生命科学・医療を成長産業に育てあげていこうと思っています。

ライフイノベーション特区が本格始動

この「ライフイノベーション国際戦略総合特区」の取り組みが、いよいよ本格的に動き出しました。拠点となる川崎市川崎区殿町の「キングスカイフロント」では、「川崎生命科学・環境センター(LISE=きんせき)」には神奈川県科学技術アカデミー(KAST)が進出し、東西医療融合を見据えた食品開発などのプロジェクトを開始しています。

また、4月には、川崎市高津区坂戸の「かながわサイエンスパーク(KSP)」に「ライフイノベーション国際協働センター(GCC)」が民間主導でオープンしました。

これは、ライフサイエンス関連産業の海外展開を円滑に進めるための支援など、特区における国際戦略を推進する司令塔として、私が昨年11月に提唱したもので、5カ月でのスピード開設となりました。今後、アメリカの食品医薬品局(FDA)などとの連携も積極的に進めていきます。

社会を変える新たな技術や産業の胎動に、私自身、ワクワクしながら、先頭に立てて取り組みを進めています。今後の展開にご期待ください。

[このページの先頭へもど](#)

[県のたよりトップページへもど](#)

神奈川県 県民局 くらし県民部 広報県民課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
[電話]045(210)1111 [ファックス]045(210)8834
[県のたよりに関する問い合わせフォーム](#)

神奈川県 このページの所管所属は [県民局 くらし県民部 広報県民課](#) です。